教科
 工業(建築)
 科目
 建築実習

 単位数:
 3
 単位

 墨田工科高等学校
 令和7年度

 教科: 工業(建築)
 科目: 建築実習

 対象学年組:第 3 学年 5 組~
 4 組

教科担当者: 使用教科書: (自校作成資料

教科 工業(建築) の目標:

「知 識 及 び 技 能 】 基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたありかたを理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】 建築に関する諸問題の適切な解決を目指し、広い視野からみずから考える能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 建築に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む姿勢を構築する。

科目 建築実習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身に着けるとともに、あきらめない忍耐力を習得させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	環塞単工業計・表彰・生物は立移に 「加級及行場」の他性程便の原体はよび型枠の組立作業を通して、安全社に配慮し、同面を原準し、存着的に関するというできます。 ではまするとの、現場を原準し、行動的に関すてきる技能を ではまするとの、現場が自然では、では、では、 では、では、では、 のでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	まずエンテーション 機能工工者 ・政治組立・型枠組立解体	・推案を工実行 「知識及び経過 「知識とは理念の概念とび想性の超立作業を適して、安全性に配慮し、同語の思想 」、の理的に選ばてきる技能をおこ都でいる。 取過性理解の概略および想体の起化性素を通して、構造力学や能工品質の意響性を学 成立性理解の機能および想体の起化性素を通して、構造力学や能工品質の意響性を学 成正を決って、変と、い地工力がを登場・特殊、効率よい超立工程を創置工夫し、完 度加度なり、 「工作的」で学出に取り振り機能 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作的」で学出に取り振り機能。 「工作の」で学出に取り振り機能。 「工作の」で学出に取り振り機能。 「工作の」で学出に取り加速を発生である。 「工作の」で学出に取り振り機能。 「工作の」で学出に取り振り機能。 「工作の」で学出に取り振り機能を発して 「大きない」である。 「大きない。 「たない。 「大きない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「たない。 「た	0	0	0	15
1 学期	及職者で、電気配動 「知職及び投資の配動・国産の指針」との意識図の作例作業を は職員の対象に記載し、国産の任務料、の言動に応酬するも数 18年7、開発し、国産の任務等、、の言動に応酬するも数 18年7、開発し、現代の自動に対象が、現代の主ない。 18年7、開催し、海洋より報立工程を創置工夫し、元 18年7、開催し、海洋より報立工程を創工工夫し、元 18年7、日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日	応募者等 本名的が、電気配募 ・商業の・デート ・信任の・電気配募等の作器(様字)	・②応信末日 ・「知識及り作業」電気実施の協立化権的よび税場間の作信作者を通して、安全性に配 に関する。 「無力、 「無力、 「無力、 」 に関する。 「無力、 」 に関する。 「無力、 」 を対し、 「無力、 」 を対し、 「無力、 を対し、 「無力、 」 ・ 「一力、 」 ・ 一力、 一力、 一力、 ・ 「一力、 」 ・ 「一力、 一力、 一力、 ・ 「一力、 一力、 ・ 「一力、 一力、	0	0	0	12
	定期考査 (なし)						
	が商業を、空気需な高速度 に加速及び機関 入みられた条件と構成において、合理的な計画 を計画して機関を行い、他もれたデータを適切に返用し、その成 に参加、機関、展現が同じ、変更の に参加、機関、展現が同じ、変更の 関心のは、通知に思う、情報し、さささなを条件を構成におけ では、一般に思うしました。 は、これでは、一般に思うします。 は、一般に思うします。 は、一般に思うなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	お高英敬 ・空気間和設備英敬	「知識力が振りからたた本格・西郷において、自然の公別を分割にく選集を行 は、終われたデータを提供に発見、その成業を得って成立を指しませませんではついて、 「他の方、無数か、無数か等」 で気料的途間に対する接触が大きまし、表現することがことができる。 で気制が適能に対する情報がある機能と、表現することがことができる。 で気制が適能に対する情報がある機能と、表現することがことができる。 で気制が適能について影響が、実施し数り組み、得られたデータの処理について創造 的、実施的心を思せる身につけている。	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
	事業及工業と、対象を構造工業等 (中職及び機能) 成果を参加した事業を通して、安全性に配慮 1、開催を開業し、合理的に製工できる技能を表す。またものであ は、関係を開業し、合理的に製工できる技能を表す。 は、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	排物生之前等 一类企款等 一品分足编版立矩体 - 微人先行于新型及编版立即体	(知識上げ京記) (本記 はいました) (知識と対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	0	0	0	12
2 学期		建築量工程度符 企業機能 - 建模型 (集件) - 建模型 (集件) - 工程長 (SW造7 程建て集合住宅) 作成	・協力では当り、 ・協力を担保している。 ・協力を担保している。 ・協力を担保している。 ・協力を担保している。 ・は、これのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
	・ 計画策略: 司根某職 「加級及行政策略・開度・直接」に関連していて与えられた条件と機 域において、合理的な計画を計画して観測を行成。 得られた子 を書間に認知、その概集を加、実施を行業を合いつけさせ 【思考力、明新力、実現分等】 編音・研度・磁路の限定に関する 「最初な技術」では、当時にあるまさな条件や 「全球がに実施」という。 「全球がに実施」という。 「全球がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がに実施」という。 「本学がにまた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたた。」という。 「本学がにまたたた。」という。 「本学がにまたたたた。」という。 「本学がにまたたたた。 「本学がにまたたたたた。 「本学がにまたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたた	計算基礎 基務例定其數 - 相反其報 - 進色例定其數	【物施及行後】 総合、相反、無抗へかてゆえられた条件と推模において、合理的な貯蓄を計画して 解源を行い、得られたデータを通知に想見し、その基準を削・別に責す技能を身につ (思考力、解析、表現力等) 総書・規定、温熱の展定に関する基礎的な技術について、適切に思考・判断し、さま また条件や確認しなり表現的な必要とし、異項できる。 環常・相皮・温熱の源定について資素的に実施に変なる組み、得られたデータの処理に いいて創造的、実践的な影響と、一次である。 (記述、一般の原定とついて資素的に実施に変も組み、得られたデータの処理に のいて創造的、実践的な影響と	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
	A 建築施工実習: 仮設是場総立解体 【知識及び技能】仮設是場総組立作業を通して、安全性に配慮	建築能工実習	【知識及び技能】 仮設及場の組立作業を通して、安全性に配慮し、図面を理解し、合理的に施工でき				
	【知義と行後間、彼及基の利益と作業を過して、安全性に必要 ・関係を開始、一部別に施工でも対象を申求するである。 ・関係を開発している。 環の複数性を学んだりえて、選上しい施工力能を思考・特殊し、 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	- 安全教育 - 而义是福亚加怀 - 教《先行李相望是福祉立解体	仮設と乗の温化可集を通して、安全性に配慮し、関係を開解し、含意的に施工でき な社能を表す。2017年 (24 年) 程度発展の温化学集を出して、足場の業費性を学えだうえて、別ましい施工方法を思 等、制限し、商本・加速工程を修理工人、党成課を入 【主体的に予防に取り組む機工 「大会社会」を発展して、安全で合理的な作業を実施する実践的な態度を身につ けている。	0	0	0	9
3 学期	報節型工管開発す。物格報等 工工投資 「加廉人で開発」を開催す 工工設計化資金通して、回路を理 申し、企理的に構築業を貸出し、作業工程を促進さる対象を がこ前さると、 1.8-5円、場所と、現代が1 3年級第一工程的作品である。 1.8-5円、場所と、現代が1 3年級第一工程的作品である。 1.8-5円、場所と、代表で、元、2章 にい方形を思う。 利・規定をは、代表を発出する主義を完成される。 1.4年以に向から力、人間特別、無機工管理に意成的に扱い組 大金で合理的文件者を実施する実験的な態度を身につけさせ 5.	福敬工作品牌。 ・電機額(に比け) ・電機額 (保保) ・工程表(SW並7程建て集合住宅) 作成	・ 国際では他別 ・ 環境等等、工程条件を作金を通して、関連を理解し、合理的に関算数量を算出し、 ・ 情報等等、工程条件を作金できない。 ・ 作業工程を提供する日報を存在で割すている。 ・ 18 条件、表現では、 ・ 18 条件、表現では、 ・ 18 条件、表現では、 ・ 18 条件、表現では、 ・ 18 条件、表現では、 ・ 18 条件、 ・ 18 条件、 18 条件 18 条件	0	0	0	9
	定期考査(なし)						
	計画及第、西東京教 「加廉及行政者」等・原産・直動について与えられた条件と開 取において、合理的な計画を計画して厳趣を行い、得られた子 を書間に応知して、合理的な計画を対画して厳趣を行い、同られた子 を書間にないて、合理を含まった。実践では他を必ていけさせ 【思考力、明新力、表現内号】留音・原皮・血熱の原定に関する 「最初な大量が上海」という。 「日本の大量が	計画実施 ・報信側定定験 ・報信制度 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・報信表現 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	【知識及び接記】 報告 相関で、機能へかいてゆえられた条件と推廣において、合理的な影響を持属で、 概測を行い、得られたデータを通知に処理し、その成果を使・第に実行技能を身につ 「思考り、解析、表現が等】 「思考り、現所、表現が同様に関する基礎的な技術について、適切に思考・判断し、さま また条件や機能によれる方量があたを課化し、実現できる。 報告・相反・風熱の源定について資素的に実施に変わる場合。 報告・相反・風熱の源定について資素的に実施に変わる場み、得られたデータの処理に ついて創造的、実施的な整形と、対して発力的に実施に変わる場み、得られたデータの処理に ついて創造的、実施的な態度を含むつけている。	0	0	0	12
	定期考査(なし)						
							合計
							105
L							